

7 公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社

令和5年7月1日現在

設立年月日	昭和48年2月1日	代表者氏名	理事長 齋藤 晃		
所在地	長野県木曽郡王滝村3159番地25			電話番号	0264-48-2111
ホームページアドレス	https://www.ontake-kyukamura.net/				
資本金・基本金	10,000千円	市出資・出捐金	10,000千円 (100.0%)		
所管部局	観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化芸術推進課			電話番号	052-972-3175
設立目的	名古屋市民御岳休暇村の管理運営を行うとともに、自然体験活動をとおして名古屋市民等の健康増進、福祉の向上及び児童又は青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。				
主な事業	事業名	令和4年度 事業費	事業の概要		
	自然体験事業	343,878千円	豊かな自然を利用した市民の自然体験、環境学習、青少年健全育成、健康増進事業の実施		
	施設貸与及び販売事業	82,129千円	休暇村施設の利用提供及び食事や飲物の提供、土産品の販売		
	旅客自動車運送事業	10,347千円	休暇村を利用して自然体験を行う市民の送迎		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	1人 (うち市派遣)	0人 (うち市OB)	0人	6人
	職員数	14人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	0人	16人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		—	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		5,310千円
				正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	44.6歳
市からの財政支出		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	委託料	62千円	133千円	191千円	
	内 随意契約金額	(62千円)	(133千円)	(191千円)	
	補助金	0千円	0千円	0千円	
	指定管理料	296,763千円	306,081千円	315,748千円	
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	376,375千円	373,898千円	433,893千円	
	経常費用	376,371千円	373,843千円	439,544千円	
	経常利益(損失)	4千円	55千円	▲ 5,651千円	
	当期利益(損失)	0千円	0千円	▲ 5,680千円	
貸借対照表	総資産	165,622千円	124,128千円	128,850千円	
	内 流動資産	(105,965千円)	(62,536千円)	(65,691千円)	
	内 固定資産等	(59,657千円)	(61,593千円)	(63,159千円)	
	総負債	144,540千円	103,047千円	113,448千円	
	内 流動負債	(98,049千円)	(54,547千円)	(63,311千円)	
	内 固定負債等	(46,491千円)	(48,499千円)	(50,138千円)	
	純資産(正味財産)	21,082千円	21,082千円	15,401千円	

経営に関する指標（共通指標）

7 公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社

○法人の自立性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	81.9%	72.8%	▲9.1%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
	令和4年7月1日現在	令和5年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	14.3%	14.3%	0.0%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	92.3%	92.9%	+0.6%

○組織運営の効率性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
管理費比率 $\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	6.6%	6.3%	▲0.3%

○財務の健全性

	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	17.0%	12.0%	▲5.0%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	114.6%	103.8%	▲10.8%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	88.5%	96.4%	+7.9%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{総資産}} \right)$	11,082千円	5,401千円	▲5,681千円

○経営戦略計画(R3~R7)の概要

経営戦略方針
(1) 休暇村は、御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える木曽川上流域に位置しています。この市民の貴重な財産である広大な自然を保護し活用を図りながら、市民、NPO法人、民間事業者、地元との連携・協働で、事業を実施します。 (2) 自然体験、青少年健全育成、健康増進、環境保全などに対する市民ニーズを、参加者アンケートやヒアリングなど、さまざま方法で多面的に把握し、満足度の高い事業を適切な参加費で実施します。 (3) 公社主催事業の開催PRだけでなく、その事業成果や支援事業に関してもわかりやすく情報発信するなど、マーケティング活動を組織的に行います。 (4) 今後エコツーリズムやグリーンツーリズムなどさまざまなニューツーリズムの進展が見込まれることから、休暇村の特色を活かした新たな取り組みを企画・実施しました。 (5) 休暇村の持つ施設や立地条件などを活かし、かつ、これまで利用の比較的小さい若年層への訴求を念頭に置き、ゼミ合宿やスポーツ・サークル合宿及び研修の目的での利用促進を図ります。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	4 目標値	4 実績値
市民ニーズを踏まえた、公社主催事業を年間160回実施し、参加者満足度は95%以上を維持しているとともに、公社支援事業も年間約1,100件実施し、休暇村を利用する団体客等から支援を評価されています。	公社主催事業実施回数(回)	106	88
	公社主催事業延べ参加者数(人)	11,530	6,201
	事業参加者満足度(%)	94	97
	公社支援事業件数(件)	500	1,754
	公社支援事業利用人数(人)	8,000	12,042
マーケティング活動が組織的に行われており、休暇村事業に対する市民の認知度も高く、名古屋市などからも高く評価されています。	セントラルロッジ利用者一人当たり収入額(円)	10,500	9,883
顧客満足度に応じたきめ細かな料金設定などが実施されており、その収益が公益目的事業の充実に貢献し、公益目的事業比率が50%以上維持されており、収支相償のバランスもとれています。	施設利用者の満足度(%)	80	78